

	<h1>福山平成大学</h1> <h2>FDニューズレター</h2> <h3>No. 18</h3>		<p>発行：福山平成大学 FD推進委員会 〒720-0001 広島県福山市御幸町 上岩成正戸 117-1 084 (972) 5001 (代) fd@heisei-u.ac.jp</p>
---	--	--	---

## 目次

第1回 FD 研修会報告 .....	1
講師：福祉健康学部健康スポーツ科学科	上村 崇 教授
福祉健康学部こども学科	田中 宏和 准教授
看護学部看護学科	平川 幹子 講師
テーマ「LMS(Learning Management System)を利用した遠隔授業」	
第2回 FD 研修会報告 .....	2
講師：株式会社朝日ネット 営業部第二営業グループ	山崎 祥平氏
テーマ「セレッソ(LMS: manaba)を遠隔授業で利用する」	
FD 講習会「実用統計講座」報告 講師：経営学部経営学科	福井 正康 教授 .....
FD 講習会「科研費申請書作成のポイント」(1) .....	3
講師：福祉健康学部健康スポーツ科学科	上村 崇 教授
FD 講習会「科研費申請書作成のポイント」(2) .....	3
講師：福祉健康学部健康スポーツ科学科	上村 崇 教授
令和3年度学生による授業アンケート調査結果 .....	4~8
FD 関連図書コーナー新着案内 .....	9
令和3年度 FD 推進委員会活動記録 .....	10

## 第1回 FD 研修会

### 「LMS(Learning Management System)を利用した遠隔授業」

講師：福祉健康学部	健康スポーツ科学科	上村 崇 教授
福祉健康学部	こども学科	田中 宏和 准教授
看護学部	看護学科	平川 幹子 講師

新型コロナウイルス感染防止のために遠隔授業が昨年度から始まりました。7月1日(木)に開催した第1回FD研修会では遠隔授業ではかかせないLMSの利用方法について、3名の先生方が授業でどのように利用されているかについて具体的に紹介していただきました。本学にはセレッソと呼んでいるLMSを使用しています。セレッソは主にオンデマンド形式での授業で利用しますが、リアルタイムでの遠隔授業ではWeb会議システムのZOOM等を利用して行う場合が多いので、ZOOMを利用しての授業の紹介もしていただきました。この講習会自体も感染防止のためにリモート形式で行いました。参加者は62名でした。

3名の先生方が、それぞれの授業内容に合わせてセレッソの様々な機能を駆使して、学生が遠隔形式による不都合をできるだけ感じないように努力されている様子が見え、大変参考になる内容でした。

## 第2回 FD 研修会報告

### 「セレッソ(LMS:manaba)を遠隔授業で利用する」

講師：株式会社朝日ネット 営業部第二営業グループ 山崎 祥平氏

第2回のFD研修会を7月29日(木)に開催しました。第1回の研修会において、遠隔授業でセレッソを利用する方法について紹介していただきましたが、今回は、セレッソのサービスを行っている朝日ネットの本学の担当者である山崎氏より、セレッソの機能について説明していただきました。事前にセレッソについての質問を先生方から募り、その質問に答えていただく形式でお話ししていただきました。今回も前回同様にWeb会議システムを使って、講師の山崎氏は東京から、先生方はそれぞれの研究室から参加する形をとりました。58名の参加者がありました。

セレッソ内の「小テスト」「レポート」の使い方や、学生への連絡方法についてなど、詳しくまた具体的に紹介していただき、遠隔授業にとどまらず通常の授業においても使うことができることも多くあり、大変参考になりました。

## FD 講習会 「実用統計講座」報告

講師：経営学部経営学科 福井 正康 教授

8月18日(水)～8月20日(金)の3日間にわたってFD講習会「実用統計講座」を福井正康教授(経営学科)の指導のもとに開きました。

この講習会は、教員の授業改善と研究のために毎年、福井先生にお願いして実施しています。初日は、基礎統計(集計と検定)と題して、質的データの集計と検定、量的データの集計と検定、正規分布の性質、相関と回帰分析について学びました。二日目は、多変量解析を含む初級統計の分析方法について、主に実験計画法、重回帰分析、判別分析、因子分析、クラスター分析、正準相関分析等について学びました。三日目は、多変量解析の中級編と題して、分析間の関連、多変量解析の発展形について学びました。三日間で延べ12名の参加者がありました。

具体的な講習内容としては、中心極限定理、相関係数の検定・t検定・X<sup>2</sup>検定の関係、重回帰分析と数量化I類、多重共線性の意味、判別分析とロジスティック回帰分析、共分散構造分析、探索的因子分析と確認的(検証的)因子分析などについての考え方を学びました。

福井先生は、統計分析ソフト College Analysis を開発され、フリーソフトとして公開しておられ、多くのユーザーに利用されています。今回の講習会もこの College Analysis を使って、行われました。



## FD 講習会「科研費申請のポイント」(1)

講師：福祉健康学部健康スポーツ科学科 上村 崇 教授

8月26日(木)に昨年度に引き続いて、健康スポーツ科学科の上村崇教授に科研費申請についての説明や指導を行っていただきました。科研費を本年度申請予定の先生方が自分の申請書類を持ち寄って、相互に気づ



いた点などを述べ合い、より採用されやすい書類を作るというのが講習会の目的です。実際には、今回は申請する予定のない先生方も参加してくださいました。

最初に上村先生から、研究と科研費についての説明を先生ご自身の研究を例に挙げながらしていただきました。続いて申請書作成における留意事項などについての質問を受けながら説明していただきました。

## FD 講習会「科研費申請のポイント」(2)

講師：福祉健康学部健康スポーツ科学科 上村 崇 教授

9月16日(木)に、科研費申請についての第2回目のFD講習会が開かれました。講師は第1回目から引き続いて健康スポーツ科学科の上村崇教授が担当してくださいました。今回は、参加者の先生方がご自分の研究計画やプロポーザルなどを持ち寄り、それについて参加者が自由に意見を述べて、研究内容をさらに質の高いものにするのが目的です。それぞれ異なる領域の研究なので、意見を述べるのが難しいところもありますが、研究の目的や方法などについて上村先生が概要をまとめ、そのポイントごとに意見を述べ合うことができました。2回にわたる講習会を通して、科研費申請に向けて、良い準備の機会となりました。第1回と第2回の参加者は16名(延べ人数)でした。

## 令和3年度 学生による授業アンケート調査結果

### 1. 調査概要

#### (1) 実施期間

前期：令和3年7月12日(月)～8月5日(木)

後期：令和4年1月18日(火)～2月12日(土)

#### (2) 対象科目

演習・実習等の科目を除く全科目（履修者数5名未満の科目を除く）

#### (3) 実施科目数

前期：283科目

後期：257科目

#### (4) 実施方法

- ▶ 学修支援システム・セレッソを用いて、授業時間内に教員の指示に従って、学生が各自スマートフォンなどを通じて回答する。
- ▶ アンケート集計結果は、科目毎に科目担当教員に返却。大学全体、学部・学科、学年別の集計結果は、各学部、学科に配布するとともに当FDニューズレター等で公表する。

#### (5) 設問

##### <授業に関する設問>

Q1-1. この授業の履修の決定や学修する際に、シラバス（授業概要）を読んだ

Q1-2. シラバス（授業概要）は、この授業の学修に役立った

Q1-3. シラバス（授業概要）の到達目標を達成できた

Q2. 受講にあたって、学修到達目標や注意事項などの説明・指導は、適切だった

Q3. この授業の進度は、適切だった

Q4. 教員の話し方は、聞き取りやすかった

Q5. 板書や視聴覚機器は、見やすかった（聞きやすかった）

Q6. 教員の説明・指導は、わかりやすかった

Q7. 教室や実習・実技の環境・設備などは、適切だった

Q8. この授業は、有意義だった

##### <学生の受講態度に関する設問>

Q9. この授業にきちんと出席した

Q10. 受講マナー（遅刻・早退、私語など）は守れた

Q11. 予習・復習・課題提出など、この授業に熱心に取り組んだ

Q12. この授業に対する1回あたりの平均勉強時間

#### (5) 回答方法

5段階評価 5：よくあてはまる

4：ややあてはまる

3：どちらともいえない

2：あまりあてはまらない

1：全くあてはまらない

(Q12. については、5：60分以上、4：60分未満、3：30分未満、

2：15分未満、1：全くしなかった)

#### (6) その他

科目担当教員の自由設問および自由記述欄あり。

## 2. 大学全体の結果

(上段：前期 下段：後期)

	5. よくあてはまる	4. ややあてはまる	3. どちらでもない	2. あまりあてはまらない	1. 全くあてはまらない	平均値
Q1-1 シラバスを読んだ	51.4%	36.6%	10.2%	1.4%	0.5%	3.52
	54.6%	34.4%	9.0%	1.3%	0.4%	4.24
Q1-2 シラバスが役に立った	51.6%	35.1%	12.0%	1.0%	0.3%	3.48
	55.1%	32.8%	10.6%	0.9%	0.3%	4.24
Q1-3 到達目標を達成した	48.5%	37.3%	13.1%	0.9%	0.3%	3.65
	53.2%	34.8%	10.6%	0.9%	0.2%	4.24
Q2 到達目標・注意事項の説明	59.7%	32.1%	7.3%	0.8%	0.1%	4.39
	63.5%	29.2%	6.3%	0.7%	0.1%	4.43
Q3 授業の進度	64.1%	28.7%	5.8%	0.8%	0.1%	4.46
	66.9%	26.6%	5.4%	0.8%	0.1%	4.48
Q4 教員の話し方	65.6%	26.6%	6.4%	1.1%	0.1%	4.46
	68.7%	24.7%	5.2%	1.0%	0.1%	4.47
Q5 板書・視聴覚機器	63.2%	28.7%	6.6%	1.2%	0.1%	4.42
	65.4%	27.5%	5.5%	1.1%	0.1%	4.44
Q6 教員の説明・指導	62.9%	28.9%	6.5%	1.4%	0.1%	4.45
	66.2%	27.0%	5.4%	1.0%	0.2%	4.47
Q7 教室の環境・設備・機材	65.0%	27.8%	6.1%	0.8%	0.1%	4.42
	67.3%	26.2%	5.5%	0.6%	0.1%	4.47
Q8 授業は有意義だった	65.0%	27.7%	6.1%	0.8%	0.1%	4.47
	68.4%	25.5%	5.2%	0.6%	0.1%	4.49
Q9 出席状況	82.6%	14.6%	2.2%	0.4%	0.0%	4.70
	82.8%	14.4%	2.2%	0.3%	0.0%	4.70
Q10 受講マナー	83.5%	13.7%	2.3%	0.3%	0.0%	4.71
	83.0%	13.8%	2.5%	0.4%	0.0%	4.69
Q11 授業への取り組み	70.4%	23.5%	5.1%	0.7%	0.1%	4.52
	74.7%	20.3%	4.1%	0.6%	0.1%	4.56
Q12 平均勉強時間※	45.3%	36.5%	14.1%	3.2%	0.8%	3.91
	41.3%	35.8%	17.2%	4.6%	1.0%	3.81

※Q12 5(60分以上)、4(60分未満)、3(30分未満)、2(15分未満)、1(まったくしなかった)

### 3. 学年別の平均値

(上段：前期、下段：後期)

	1年	2年	3年	4年
Q1-1 シラバスを読んだ	3.91	3.40	3.38	3.39
	4.29	4.23	4.28	4.16
Q1-2 シラバスが役に立った	3.67	3.54	3.40	3.32
	4.20	4.29	4.26	4.22
Q1-3 到達目標を達成した	4.12	3.28	3.36	3.85
	4.25	4.31	4.28	4.12
Q2 到達目標・注意事項の説明	4.41	4.35	4.48	4.31
	4.43	4.42	4.38	4.48
Q3 授業の進度	4.43	4.41	4.48	4.51
	4.47	4.48	4.47	4.51
Q4 教員の話し方	4.44	4.46	4.51	4.44
	4.47	4.45	4.44	4.51
Q5 板書・視聴覚機器	4.47	4.41	4.38	4.42
	4.52	4.42	4.43	4.51
Q6 教員の説明・指導	4.48	4.36	4.53	4.43
	4.45	4.41	4.47	4.56
Q7 教室の環境・設備・機材	4.45	4.40	4.42	4.40
	4.48	4.44	4.47	4.50
Q8 授業は有意義だった	4.51	4.49	4.45	4.43
	4.49	4.48	4.46	4.51
Q9 出席状況	4.75	4.72	4.72	4.61
	4.78	4.81	4.59	4.62
Q10 受講マナー	4.77	4.75	4.69	4.62
	4.75	4.71	4.68	4.62
Q11 授業への取り組み	4.53	4.51	4.55	4.49
	4.61	4.61	4.64	4.38
Q12 平均勉強時間	3.91	4.09	4.07	3.58
	3.82	3.78	3.79	3.84

※Q12 5 (60分以上)、4 (60分未満)、3 (30分未満)、2 (15分未満)、1 (まったくしなかった)

#### 4. 学科別の平均値

(上段：前期、下段：後期)

	経営	福祉	こども	健康スポーツ	看護
Q1-1 シラバスを読んだ	3.57	3.79	3.10	3.75	3.39
	4.21	4.28	4.40	4.12	4.33
Q1-2 シラバスが役に立った	3.47	3.72	3.11	3.77	3.39
	4.23	4.27	4.38	4.13	4.34
Q1-3 到達目標を達成した	3.71	3.98	3.30	3.80	3.54
	4.24	4.26	4.41	4.10	4.32
Q2 到達目標・注意事項の説明	4.38	4.36	4.50	4.28	4.44
	4.45	4.46	4.54	4.32	4.49
Q3 授業の進度	4.46	4.43	4.56	4.38	4.50
	4.51	4.48	4.60	4.41	4.49
Q4 教員の話し方	4.48	4.41	4.59	4.36	4.46
	4.51	4.45	4.59	4.35	4.48
Q5 板書・視聴覚機器	4.49	4.38	4.54	4.32	4.42
	4.45	4.45	4.55	4.33	4.45
Q6 教員の説明・指導	4.42	4.41	4.55	4.30	4.43
	4.47	4.45	4.54	4.35	4.49
Q7 教室の環境・設備・機材	4.45	4.43	4.57	4.35	4.48
	4.51	4.47	4.59	4.40	4.50
Q8 授業は有意義だった	4.46	4.47	4.56	4.35	4.55
	4.50	4.50	4.63	4.36	4.57
Q9 出席状況	4.55	4.72	4.79	4.63	4.90
	4.56	4.72	4.78	4.63	4.84
Q10 受講マナー	4.64	4.68	4.75	4.63	4.89
	4.63	4.72	4.68	4.62	4.91
Q11 授業への取り組み	4.37	4.48	4.60	4.46	4.75
	4.46	4.55	3.89	4.45	4.79
Q12 平均勉強時間※	3.61	3.71	4.02	3.91	4.47
	3.54	3.77	4.58	4.35	4.23

※Q12 5(60分以上)、4(60分未満)、3(30分未満)、2(15分未満)、1(まったくしなかった)

## 5. 最近3年間の平均値の推移

	R 元年度		R2 年度		R3 年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
Q1-1 シラバスを読んだ	3.71	3.90	3.98	4.05	3.52	4.24
Q1-2 シラバスが役に立った	3.76	3.94	4.03	4.07	3.48	4.24
Q1-3 到達目標を達成した	3.80	3.96	4.03	4.10	3.65	4.24
Q2 到達目標・注意事項の説明	4.21	4.28	4.33	4.35	4.39	4.43
Q3 授業の進度	4.31	4.40	4.40	4.41	4.46	4.48
Q4 教員の話し方	4.32	4.40	4.37	4.39	4.46	4.47
Q5 板書・視聴覚機器	4.27	4.36	4.35	4.37	4.42	4.44
Q6 教員の説明・指導	4.30	4.38	4.37	4.39	4.45	4.47
Q7 教室の環境・設備・機材	4.33	4.41	4.38	4.40	4.42	4.47
Q8 授業は有意義だった	4.34	4.44	4.42	4.44	4.47	4.49
Q9 出席状況	4.63	4.60	4.70	4.69	4.70	4.70
Q10 受講マナー	4.56	4.55	4.69	4.68	4.71	4.69
Q11 授業への取り組み	4.22	4.29	4.47	4.53	4.52	4.56
Q12 平均勉強時間※	3.24	3.22	3.73	3.77	3.91	3.81

※Q12 5(60分以上)、4(60分未満)、3(30分未満)、2(15分未満)、1(まったくしなかった)

本学の授業アンケートは、5名以上の受講者がいるすべての科目を対象に実施しています。本年度の実施対象の総科目数は前期が283科目、後期は257科目でした。回答者の延べ人数は、前期が9142名、後期が8351名です。本学の在籍学生数は約1150名ですので、平均すると一人の学生が7～8回、アンケートに回答していることとなります。「5. 最近3年間の平均値の推移」を見ると、この3年間で数値が向上傾向にあることがわかります。新型コロナウイルス感染症流行のために昨年度からは遠隔授業の形態を取らざるを得なくなり、教員は試行錯誤しながら可能な限り通常授業と同等の授業内容を提供できるように努力してきました。その努力の結果がこの数値に表れていると考えます。遠隔授業で利用したセレッツ、ZOOM、YouTube等のツールは、「アフターコロナ」においても役立つはずですが、その期待を持ちながら、次年度につなげていきたいと思っております。



## FD関連図書コーナー新着案内

本学図書館1階の参考図書架に設置されている「FD関連図書コーナー」では、毎年多数発刊される国内のFD関連図書の中から、特に有用なものを選定・購入し、蔵書を充実させています。

新たに購入した図書の主なものは、次の通りです。自由に閲覧、貸し出しができますので、多数の方のご利用をお待ちしております。

書名	著者名	出版社
学習環境のイノベーション	山田祐平	東京大学出版会
ハーバード式Zoom授業入門 オンライン学習を効果的に支援するガイド	ダン・レヴィ	青弓社
学修成果の可視化と内部質保証	山田礼子	玉川大学出版部
大学教育とキャリアの繋がりを解明 (PROG白書2021)	リアセックキャリア総合研究所	学事出版
科学立国のための大学教育改革－エビデンスに基づく科学教育の実践	カール・ワイマン	玉川大学出版部
大学生活、大丈夫？ 一家族が読む、大学生のメンタルヘルス講座	梶谷康介	九州大学出版会
教育工学における大学教育研究	日本教育工学会 (監修)	ミネルヴァ書房
日経ムック 大学選びを考えたらまず読む本 2022年版	日本経済新聞社 (編集)	日経BP
新たな大学像の模索 (高等教育研究第24集)	日本高等教育学会 (編集)	玉川大学出版部
大学はどこまで「公平」であるべきか――発試験依存の罪	橘木俊詔	中央公論新社
コロナ後の教育―ヘーオックスフォードからの提唱 (中公新書ラクレ、708)	荻谷剛彦	中央公論新社
学校の大問題 これからの「教育リスク」を考える (SB新書)	石川一郎	SBクリエイティブ
日本の大学改革の方向	江原武一	東信堂
教育論の新常識―格差・学力・政策・未来 (中公新書ラクレ、740)	松岡亮二	中央公論新社
大学IRと学習・教育改革の諸相―変わりゆく大学の経験から学ぶ (高等教育シリーズ180)	鳥居朋子	玉川大学出版部
日本の教育はダメじゃない―国際比較データで問い直す (ちくま新書)	小松光	筑摩書房
大学が「知」のリーダーたるための成果重視マネジメント (大学改革支援・学位授与機構大学改革マネジメントシリーズ)	大学教育支援学位授与機構	ぎょうせい
エビデンスの時代のFD―現在から未来への架橋	アンドレア・L・ビーチ	東信堂
AI人材の育て方 先端IT人材の確保がビジネス成長のカギを握る	孝忠大輔	翔泳社
教職協働による大学改革の軌跡	村上雅人	東信堂

## 令和3年度 FD 推進委員会 活動記録

- 令和3年 5月14日 第1回委員会  
 議題 1)令和3年度活動予定について  
 2)その他
- 7月12日～  
 8月5日 学生による授業アンケート調査(前期)
- 7月1日 第1回 FD 研修会  
 「LMS(Learning Management System)を利用した遠隔授業」  
 講師:福祉健康学部健康スポーツ科学科教授 上村 崇氏  
 福祉健康学部こども学科准教授 田中 宏和氏  
 看護学部看護学科講師 平川 幹子氏
- 7月29日 第2回 FD 研修会  
 「セレッソ(LMS:manaba)を遠隔授業で利用する」  
 講師:株式会社 朝日ネット営業部第二営業グループ 山崎 祥平氏
- 8月18日～  
 8月20日 FD 講習会「実用統計講座」  
 講師:経営学部経営学科教授 福井 正康氏
- 8月27日 FD 講習会「科研費申請書作成のポイント」(1)  
 講師:福祉健康学部健康スポーツ科学科教授 上村 崇氏
- 9月15日 第2回委員会  
 議題 1)前期授業アンケート調査結果の報告  
 2)その他(FD 関連図書購入について)
- 9月16日 FD 講習会「科研費申請書作成のポイント」(2)  
 講師:福祉健康学部健康スポーツ科学科教授 上村 崇氏
- 令和4年 1月18日～  
 2月12日 学生による授業アンケート調査(後期)
- 3月9日 第3回委員会  
 議題 1)後期授業アンケート調査結果の報告  
 2)その他
- 3月 FD関連図書コーナー(図書館)蔵書追加
- 3月31日 FDニュースレター第18号発行

**編集後記** FD ニュースレター第 18号をお届けいたします。ワクチン接種も始まり、感染流行も収束するだろうという希望もむなしく、第5波、第6波に翻弄された1年間になりました。FD 研修会では、セレッソ等を利用した遠隔授業の実践紹介を3名の先生方にいただきました。企画した段階では、感染流行も年度中には落ち着くのではないかと考えていたのですが、研修会後に遠隔授業になり、(残念ながら)研修会で学んだことが早速役立つことになってしまいました。感染症流行や戦争など、社会秩序の基盤が揺り動かされていると感じる中、大学教育においても今後さまざまな変化が求められる時代になるのではないかと考えます。そのような新たな変化にしっかりと対応できるように、FD 活動を行っていかねばと気を引き締めているところです。最後になりましたが、本年度の皆様のご協力を心から感謝申し上げます。(KW)